

守門大岳山行記録



雪庇と栗ヶ岳



袴岳への稜線

目的地	守門大岳 (袴岳を目指したが失敗)	期 日	平成17年4月2日 (土)
山人	笠原正雄単独	特 記	数年前道院ツアーに参加したコース、今度は一人で。

地名	(着) ~ (発)	天候	記 事
与 板	午前 6:20 発	快晴	5年前に花沢と約束した山行。しかし彼は都合つかなかった。YHC 田村ポストに届けると、五十嵐のスキー山行の届けもあった。
除雪最終地点	8:00~8:20	"	路上駐車多数有り。場所を探しながら進むと五十嵐に出会い、彼の誘導で五十嵐車のすぐ後ろに停めることが出来た。彼は先行する。
大 平 橋		"	駐車場所からここまで雪の上を 10 分ほど歩く。皆左折していくが、わずかにスキーの跡が有る右へと進みすぐにワカン装着。猿倉橋をめざすが踏み跡も無くルートが良く分からない。直登で尾根らしき上部を目指す。
杉とブナの境を行 く	9:35	"	道路上らしき所のスキート跡に従う。結構大きな動物の足跡が続いている個所もある。大岳のピークが望め、下池、大池も右下後ろに確認できるが、やはりオカバミから遠ざかって進んでいる。道路上と思われるスキー跡を進むうち男と遭う。保久礼への道とのことだ。大岳へ行こうと納得。
保久礼小屋広場	10:50~11:05	"	雪多い。水場も全く雪の下。少し食べて、ザックを立ち木の又に載せ置いて、空荷で大岳ピストンとする。ブナ林間に行く。キビタキ小屋も雪の下だ。歩きよりスキー登山の方がやや多い感じがする。
大 岳 頂 上	12:30~12:45	"	見上げるピークをひとつ乗り越えて頂上へ。少し風があるが絶好の快晴だ。栗ヶ岳が秀麗。川内山群の上に霞んではいるが飯豊が浮かんで見える。浅草岳は霞で頂を見ることは出来ない。袴岳方面へのトレースが僅かではあるが確認出来る。
保久礼小屋広場	1:20~1:50	"	夏道の階段の下りは嫌いだ。しかし雪の下りは楽しい。遅い昼食、またまた菊水が旨い。6時過ぎに入山し猿倉から袴岳を登り、大岳経由でここに降りたという男と話が出来た。ヤセ尾根は雪の割れ目が隠れていて要注意とのことだ。時程と難度からして、俺には難しいコースだったのだ。
除雪最終地点	3:10	"	保久礼からは進むうちにだんだん雪も緩んで来て、林間に入るとザクザクだ。しかしそのコースは無雪期では歩けない所だ。カンジキ歩行に飽きて後半それを外す。2~3箇所、ケツで滑り台を楽しむ。駐車車両も数台程度に減っていた。R290 に出て角の酒屋で八海山 1 本買う。栃尾の市内に入りアブラゲを土産に買う。しかし R290 は地震災害の跡が未だ生々しい。
与 板 着	5時過ぎ		帰路羽滝に寄りお茶を貰う。田村さんに報告して帰宅。

3日を予定していたが急きょ休みとなり、天気回りもOKで本日入山とした。絶好の日和であった。当初計画を変更し欲をかいて、袴岳へ行こうと歩き始めたが、全くトンチンカンな結果となってしまった。しかし上記のように、それで良かったのだと思っている。またいつか、そちらのコースを研究してみたい。

はたまた、前夜職場の歓送迎会で酒席があった。白山の時ほどでは無いが、後遺症は否めない。山頂で少し腿裏の引きつりが出た。ただし、体が慣れてきたせいか、翌日は体の疲労感はあるものの筋肉痛は殆ど無い。

とにかくこの上無い良い天気であった。